

氏名	木戸 聡史	部署	理学療法学科	職名	准教授
研究分野	呼吸理学療法、リハビリテーション工学				
学位	修士（理学療法）博士（工学）				
学歴	2003年 札幌医科大学保健医療学部理学療法学科、2005年札幌医科大学大学院保健医療学研究科理学療法専攻博士課程前期、2018年千葉大学工学研究科博士課程修了				
経歴	2008年埼玉県立大学保健医療福祉学部理学療法学科助教、2016年埼玉県立大学保健医療福祉学部理学療法学科講師、2018年埼玉県立大学保健医療福祉学研究科准教授・保健医療福祉学部理学療法学科准教授				
所属学会（役職）	日本理学療法士学会、日本呼吸理学療法学会、日本呼吸ケアリハビリテーション学会、専門リハビリテーション研究会、埼玉県理学療法士会（学術編集委員）、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会、呼吸機能イメージング研究会				

【2021年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌 雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	決定木およびサポートベクターマシンを用いた転倒有経験者の判別モデル	共著	あり	愛知県理学療法学会誌 33(2) 95-107	竹田 京平、木戸 聡史、村田 健児、菊本 東陽、須永 康代、久保田 章仁、善生 まり子、内山 真理、藤 縄理	2021年12月
2	間質性肺疾患に対する神経筋電気刺激と随意運動の併用療法の効果	共著	あり	理学療法科学 36(3) 295-306	善田 督史、津島 健司、服部 知洋、小河 裕樹、吉原 楓、木戸 聡史、丸岡 弘	2021年6月
3	異なる強度の運動が肺気腫モデルマウスの骨格筋に及ぼす影響	共著	あり	理学療法学（掲載決定）	熊谷雄基、善田督史、木戸聡史、丸岡弘	2022年1月
4	熱画像センサを用いた浴室における見守りシステムの検討	共著	なし	2020-2021LIFE講演論文集 313-316	吉田 圭佑、木戸 聡史	2021年9月
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	胸郭動力学解析に使用する3D骨格モデリング	共同		日本呼吸ケア・リハビリテーション学会誌 31(Suppl.) 177s-177s	○木戸 聡史、柚口 菜津子、熊谷 雄基、愈 文偉	2021年10月
2	健常男性の肋骨角度から胸郭運動を予測するための要素の抽出	共同		日本呼吸ケア・リハビリテーション学会誌 31(Suppl.) 178s-178s	柚口 菜津子、愈 文偉、赤間 美波、熊谷 雄基、丸岡 弘、木戸 聡史	2021年10月
3	リハビリテーション介入がなされた敗血症患者において栄養充足率が筋変化量へ及ぼす影響	共同		第49回日本集中治療医学会学術集会、仙台 074-5	阿部 遼、島居 傑、北村 伸哉、木戸 聡史	2022年3月
4	Comparison of the six-minute walk test by severity of idiopathic pulmonary brosis and nonidiopathic pulmonary brosis	共同		第7回日本呼吸理学療法学会抄録集 35	Masashi Zenta, Kenji Tsushima, Tomohiro Hattori, Yuki Ogawa, Kaede Yoshihara, Jin Kubo, Naoto Ozaki, Satoshi Kido, Hiroshi Maruoka	2021年9月
5	呼吸運動パターン分類による慢性閉塞性肺疾患早期発見のための予備的研究	共同		第7回日本呼吸理学療法学会抄録集 51	海津樹、川村和也、佐々木勇哉、熊谷雄基、柚口菜津子、木戸聡史	2021年9月
6	Effectiveness of Combination Therapy with Selective β -1 Blockers and Pulmonary Rehabilitation for COPD- A Case Series Study	共同		The 25th Congress of the Asian Pacific Society of Respirology (APSR 2021), Kyoto	Zenta Masashi, Tsushima Kenji, Hattori Tomohiro, Kubo Jin, Ozaki Naoto, Kiyofuji Kouji, Ishiwatari Yusaku, Ogawa Yuki, Yoshihara Kaede, Kido Satoshi, Maruoka Hiroshi	20 November 2021
7	膠原病性間質性肺炎患者に対する呼吸リハビリテーションの効果の検討 - ResponderとNon-responderの比較 -	共同		第27回千葉県理学療法士学会抄録集 97	善田督史、津島健司、服部知洋、久保仁、尾崎尚人、小河裕樹、吉原楓、木戸聡史	2022年3月

8	間質性肺疾患患者における胸腹部骨格筋断面積と持久力との関連性	共同	専門リハビリテーション研究会第20回学術大会抄録集20	善田督史、津島健司、小河裕樹、服部知洋、久保仁、尾崎尚人、吉原楓、木戸聡史、丸岡弘	2021年7月
9	強度の異なる運動が肺気腫モデルマウスの骨格筋に及ぼす影響	共同	第26回日本基礎理学療法学会学術大会	熊谷雄基、善田督史、木戸聡史、丸岡弘	2021年10月
10	間質性肺疾患患者における胸腹部骨格筋量測定の見直し及び検者内信頼性の検証	共同	第26回日本基礎理学療法学会学術大会	善田督史、小河裕樹、津島健司、服部知洋、久保仁、尾崎尚人、別所雅彦、吉原楓、木戸聡史、丸岡弘	2021年10月
11	慢性閉塞性肺疾患における骨格筋障害に対する運動の予防効果の解明	共同	第30回埼玉県理学療法学会抄録集 81	熊谷雄基、木戸聡史、善田督史、丸岡弘	2022年1月
(4) その他					
	名称	単・共	発表場所等	発表者(発表者は○印)	発表等年月
1	軽症から中等度症の間質性肺疾患患者における理学療法評価	共著	第30回埼玉県理学療法学会教育講演	○善田督史、津島健司、木戸聡史	2022年1月
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称		研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	文部科学省 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究C		運動時呼吸負荷トレーニングによる呼吸応答戦略の解明と効果予測モデルの構築	研究代表者	2017.4～
2	文部科学省 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究C		リハビリテーション評価および治療に使用するための呼吸器シミュレーションモデリング	研究代表者	2021.4～
3	埼玉県立大学奨励研究費 S研究 S-1		呼吸運動・呼吸機能を向上させる新たなトレーニング支援機器の要素技術開発	研究代表者	2021.4～
3. 教育業績					
(1) 講義					
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)	
1	内部障害理学療法学	○	4	内部障害系領域の理学療法について講義を行った	
3	呼吸理学療法学	○	8	呼吸機能生理・呼吸運動生理に基づいた学修と計測機器を用いた呼吸の解析を実施した	
4	身体機能運動学		1	運動負荷試験について講義を行った	
5	理学療法応用技術学H(内部新領域)	○	8	内部障害の新たな領域について講義を行った	
6	内部障害理学療法学(新カリ)	○	5	内部障害系領域の理学療法について講義を行った	
7	大学院後期課程 IPWシステム開発論②		4	アカデミアと産業界の協業について講義および討論を行った	
8	大学院前期課程 IPW論②		4	アカデミアと産業界の協業について講義および討論を行った	
(2) 演習					
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)	
1	理学療法特別演習		1	理学療法士国家試験に準拠した内容を、単元分野ごとに整理するため、心肺系の解剖・生理・運動学・病態・理学療法についてポイントを絞って講義した	
2	基礎運動療法学演習	○	3	運動療法の基盤となる運動生理学について講義と演習指導を行った	
3	理学療法研究法演習		1	自身の研究領域に関する講義を行った	
(3) 実習					
	実習の名称	科目責任者	学外実習:期間 学内実習:コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)	
1	内部障害理学療法学実習	○	後期 12	内部障害系領域の症例に対する理学療法の評価・治療について実技指導を行った	

2	運動学実習		前期 20	グループに分かれての実習について動作分析および体力良好と運動処方を担当した
3	理学療法セミナー (OSCE1)		前期 3	臨床教育実習Ⅱに向けて理学療法実践の場における対人関係や対患者関係能力を身につけるため、学生の個別指導を行った
4	理学療法セミナー (OSCE2)		後期 3	臨床教育実習Ⅲ,Ⅳに向けて理学療法実践の場における対人関係や対患者関係能力及び理学療法の基本的評価・治療技術を身につけるため、学生の個別指導を行った
5	臨床教育実習Ⅰ			検査測定を中心とした実習後指導を行った
6	臨床教育実習Ⅱ			理学療法評価習得を中心とした実習中、実習後の指導を行った
7	臨床教育実習Ⅲ			総合実習においての実習中、実習後の指導を行った
8	臨床教育実習Ⅳ			地域・特定領域においての実習中、実習後の指導を行った
9	ヒューマンケア体験実習	○	後期 15	ヒューマンケア体験実習の科目責任者として報告会運営などを行った
10	応用運動療法学実習	○	前期 8	内部障害系領域の症例に対する運動療法について指導を行った
(4) 論文指導				
	対象		期間	主指導・副指導の別及び指導人数
1	卒業論文		2021.4~2022.3	主指導 4名 副指導 名
2	修士論文		2021.4~2022.3	主指導 (指導教員) 3名 副指導 (指導補助教員) 名
3	博士論文		2021.4~2022.3	主指導 (指導教員) 名 副指導 (指導補助教員) 1名
(5) その他				
	名称		期間	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	学部ゼミ		2021.4~2022.3	学部ゼミ生の研究指導として週1回程度開催した
2	大学院ゼミ		2021.4~2022.3	大学院生の研究指導として月2回程度開催した
3	専門職対象症例検討会		2021.4~2022.3	卒業生・大学院生理学療法士を対象とした症例検討会を2ヶ月に1回行った
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称		主催	講演、研修、公開講座等のテーマ
1	体力測定会 in 埼玉県立大学		埼玉県立大学	高齢者76名を対象とした体力測定会 (3月23-26日の4日)
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称		委員等の名称	任期
1	該当なし			
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称		内容	年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目		相手方等	内容
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目		内容	期間
1	学科等における委員会等		実習指導者会議企画・運営責任者	2021.4-2022.3
2	学科等における委員会等		学科教務担当	2021.4-2022.3
3	学科等における委員会等		教務委員会委員	2021.4-2022.3
6. 受賞 (研究、教育、社会貢献活動に関するもの)				
	受賞名		主催	受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名		特許番号	登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	該当なし			